



▲天塩保育所 消防放水体験（6月12日）

No.150

平成27年7月29日発行
北海道天塩町議会

てしお

議会だより

町のホームページからも
議会の情報をご覧になれます。

URL <http://www.teshiotoon.hokkaido.jp/>

一般
質問

第2回臨時会ほか	第2回定例会	5議員町政を問う
12	3	2

第2回天塩町議会定例会

6月定例会は、6月5日から16日までの12日間の会期で開会し、5日は条例の改正案等の審議、町長からの町政執行方針及び教育長からの教育行政執行方針説明のあと議案審査のため休会。15日に再開し5議員が一般質問を行い、16日には各会計補正予算案等の審議を終え、閉会しました。

一般会計補正予算

5億5209万円増額 **総額** 45億7709万円



主な補正内容（歳出増額補正のみ）

- ・住宅リフォーム支援事業
- ・社会保障・税番号制度システム整備事業
- ・乳幼児等医療費助成事業
- ・火葬場火葬炉改修事業
- ・臨港道路整備事業
- ・町営住宅解体事業
- ・天塩小学校改築事業
- ・天塩中学校校舎屋上防水事業
- ・町民保養センター屋根補修事業

主な議案内容

【報告】

- ・特別監査の報告の件

今年3月、町長が監査委員に実施を要求した町民保養センター事業に関する特別監査の結果報告。

【推薦】

- ・天塩町農業委員会委員の推薦

議会推薦の農業委員に谷村敏彦議員を選任。

町道

谷村敏彦議員

緑豊苗畑線の改修を

町長 緊急度を勘案し取り組み



谷村敏彦 議員

【谷村】

緑豊苗畑線の改修工事について、苗畑地区には高齢者も在住しており、通行に大変困難している。この道は砂利道でもあり、高齢者や子供たちには通行が大変困難。早期の改修工事により舗装化等を行う予定はあるのか。

査において、改良の必要性を有することについて報告があった経緯があり、利用者、安全を考慮して、安心して通行できるよう、改良にあたってはアスファルト舗装を予定し、危険性を減らしたいと考えています。昨今の天塩小学校建設などに伴い、道路整備費については、老朽化した橋に、施工することを希望する。

【谷村】

25年度から2年が経過している。施工により苗畑の住民だけでなく、子供達やこもれびの森、スポーツ公園等の利用拡大も図れると考える。早々に、施工することを希望する。

【町長】

この町道は、平成5年度に、歩行者や自転車による利用を対象として、運動公園利用者の利便を図る観点から新設された道路です。平成25年には、町内会から舗装化に関する要請、また、産業厚生常任委員会の所管事務調



▲緑豊苗畑線

子育て

谷村敏彦議員

子育て支援について

町長 指定袋の支給を考える

【谷村】

天塩町は年々人口が減少しており、高齢化社会になっている。また、少子化問題にも頭を悩ませている。

【町長】

天塩町としても、乳幼児を育てている世帯の子育て支援、経済支援、ごみ分別啓発を目的に、紙おむつ排泄用指定ごみ袋の支給を前向きに実施したいと考えています。あわせて、在宅の要介護高齢者や身体障害者も対象として、紙おむつ専用の指定ごみ袋の支給の実施も前向きに考えていきたいと考えております。

現在、天塩町の3歳未満の乳幼児は70人前後と聞く。天塩町は紙オムツなどの分別ごみ処理を行っている中、まだまだ分別処理も守られていないとも聞いており、また、ごみ袋は有料。おむつ専用袋の支給の考えはないのか。

天塩町としても、乳幼児を育てている世帯の子育て支援、経済支援、ごみ分別啓発を目的に、紙おむつ排泄用指定ごみ袋の支給を前向きに実施したいと考えています。あわせて、在宅の要介護高齢者や身体障害者も対象として、紙おむつ専用の指定ごみ袋の支給の実施も前向きに考えていきたいと考えております。

現在、3歳未満の乳幼児は70人前後で年間、17〜18万円程度の支援となる。是非、地域特性を活かした町独自の支援として、天塩町で子育てを行ってよかったと満足できる優しいまちづくりを行う必要がある。昨年には河川敷地等に大量の紙おむつが、投棄されていたとも聞いています。今後も環境整備や分別ごみ処理対策に対しても、徹底検証を図り、紙おむつ支援の実施をしてほしい。

【谷村】

この支援を実施することとルールに基づいたごみ処理の分別はもとより、少しでも乳幼児のいる家庭の手助けになるのでは。

早急に行ってほしい。紙おむつは乳幼児1人に対して、1ヶ月あたり20リッターのごみ袋が5枚程度必要と聞いている。

町内の児童・生徒へ支援を

町長

支援の内容を検討したい



横山敦 議員

【横山】
①天塩高校への通学、部活動、学力向上、入学奨励金などに加え福祉バスの貸出など支援総額は。
②遠征に対する支援策としてスポーツ少年団などにスクールバス運休時の貸出など現物支援の考えは。

町長
①26年度実績で、通学支援77人に
対し1593万8千円、天塩中川

間通学対策委託料1242万円、部活動交通宿泊費助成80万円、学力向上・入学奨励等で260万円、各種検定等補助70万5千円、進学合宿助成62万9千円、英語講師料・体験入学等108万6千円、町所
有福祉バス貸出は151日間運行
で311万2千円、支援総額は
3729万円です。
②スクールバス5台のうち、14人
乗りのバス2台が、主に学校が休
日の際は運行していない状況で、
関係規程等を整備の上、町長が認
めた場合に貸出できることから、
あり方を検討したいと思います。

【横山】
①27年度は遠別方面貸切バス費用
と福祉バス優先利用経費を合わせ

4千万円を超える支援総額とな
り、右肩上がりの青天井状態。全
校生徒164名のうち町内の生徒
は64名で100名は町外の生徒。
町外の生徒にも同様の支援をする
ほど財政に余裕があるとは思えな
い。助成の減額や、助成や補助を
町内商品券で支給し地域経済への
波及効果に結び付けるなど、支援
総額の圧縮と上限額の設定につい
ての考えは。
②遠征等に町有車両を活用する新
しい形の支援策について、どう考
えるか。

町長
①全道の小規模校は閉校に追い込
まれる準備がされており、今の高
校の位置づけは危機的状況と認識
しています。高校の存続による地
域への経済効果などもあると思っ
ます。高校への支援がいかに大事
かを念頭に置き今後も議会と意見
交換をしていきたいと思えます。
商品券については、柔軟な対応が

できるか検討したいと思えます。
②今後どのような形で支援がで
きるかを検討したいと思えます。

【横山】
今後支援が増えること財政がも
つのか懸念されることから、高校
の支援には上限額を決めてほし
い。小中学生への支援も重要で少
年団や部活動を通じて体力の向上
や心身の健全な発達を図ることも
必要。財政と施策の均衡を図り、
財源を必要としない施策のあり方
や町民のニーズを的確に捉えて各
分野にバランスの取れた支援体制
の構築に努めてほしい。

町長
上限額を定めるべきか、今後の
検討に少し時間をいただきたい。
教育上のシンボルを私達の時代に
無くしたくない思いでいっぱい
です。また、小中学生の健やかな成
長を心から願い、支援の内容を検
討したいと思えます。

農林水産加工施設計画は

町長

実現に向けて努力したい

【横山】

24年度に新たな農林水産加工施設整備に必要な需要調査、事業計画・整備計画の策定のほか、運営組織の立ち上げ支援を行うとして約400万円で調査を実施したが、調査結果は公表されず、その後の動きが全く見えない。

①加工施設計画の調査結果は。
②その結果に基づき現在の動きは。

町長

①将来推計では10年後には40万8千食、15年後には、61万2千食。4590万円の販売額が期待できますが、現在の加工施設では年3万食の取扱いが限界であることから、新たな加工施設の整備が必要

で、概算整備費1億2600万円との試算です。

②協議会の組織のあり方や加工場整備に向けた取組みについては進んでいません。スナガレイをきっかけに関係者の努力、新たに構築されている人的ネットワークなどから年々販路が拡大していることから、他との差別化が図られるビジネスチャンスと、地域経済に波及的な効果が期待でき、今後の地域づくりに有効な対策と考えています。加工場整備の実現に向け、関係機関と連携を取りながら、努力したいと思います。

【横山】

①有望でしつかりとした検証結果

が出ながら、取組みが全く進んでいないのはなぜか。

②事業期間中だけ取り組み、成果を元に次の段階に進まないのはこの事業だけではない。ふるさと納税特産品制度などの事業も次へ進まないのは担当課の人員不足や事業の持ち過ぎが原因なのか、事業に対する優先順位が付けられていないからか、事業の起承転結まで一貫した管理体制が取られていないからか、他に何らかの事情があるのか。

町長

将来性がある内容で、水産関係についてはかなり実現性が高いと思います。整備した場合の施設の維持管理についてまだ話し合いが煮詰まっています。他町の例をモデルとして今後のあり方について煮詰めていきたいと思います。

②課の中の進め方の問題や職員数が減っているなどの事情があります。限界に向かって頑張ってい

きたいと思います。できる限り早期に取り組むように努力をしたいと思います。

【横山】

担当の企画商工課は、多くの事業を抱えており人手不足は明らかだが、アウトソーシングできる事業も外に出していない。これだけ有望な計画が1つも進んでおらず現在取組みもしていない。この状態で総合戦略策定に向けたプロジェクトを推進できるのか。緊張感とスピード感を持って、これらを推進し総合戦略にしっかりと位置づけ、国や道の支援を得ながら積極的に各種事業に取り組みことを求める。

町長

取組みが実行に移されないもどかしさが自分にもあります。どう整理すれば円滑に進むのか、内部的な検証をしながら期待に添えるよう努力をしたいと思います。

自衛隊との関わりは

町長

関係機関へ要望を続けていきたい



渡辺修勝 議員

ハイヤーの運行回数は121件で、

それに相当する飲食店の利用、経済効果があったと考えています。

企画商工課長

③把握には商店側に手間を取らせることになりませんが、領収書によるポイント付与などを検討する余地はあると考えます。

【渡辺】

①66年の運動の成果が現在の姿ならば、これは効率の良いものなのか。いまだにタクシー券を配らなければ来町してくれない、その程度の付き合いなのか。

②答弁のほとんどが「期待」や「可能性」。自衛隊が宿営施設建設を必要としていると、町は確認しているのか。

③なぜ経済効果を検証しないのか。

【渡辺】

①訓練場の工事が地元業者の受注でないが、なぜ町に声がかからないのか。

②常駐施設の整備は本当に可能なのか。

③経済効果は数字を使った見直しが必要。今後の考え方は。

【渡辺】

①自衛隊施設誘致の具体策は。

②産業の発展にどう結び付けていくのか。

③どのような施設誘致をしようとしているのか。最終目的は。

④町内にどれだけ経済効果をもたらしているのか。

町長

①長年の運動により防衛施設局が

受注も期待できます。

③通年での訓練などが実施されるよう要望を考えています。将来的には小規模でも常駐施設の整備までもつていきたいと考えています。

④経済効果を検証したことはありませんが、ここ3年間で来町した隊員数は、年平均8536人です。

昨年度補助した宿営地々飲食店の

町長

①昭和55年頃には道内43市町村が陳情合戦をしていましたが今は当町のみと思います。継続することでチャンスが訪れると思います。

②これまで努力したので、自衛隊が必要としないという評価はできないと思います。

町長

①今後は地元企業に有利になるよう要望していきたいと思えます。

②少しでも効果の高いものにしていく努力が必要だと思います。

③商工会とも打ち合わせをし、お金を落としてもらえるよう話していきたいと思えます。

医療制度改定と病院の今後は

町長

医療スタッフの確保に努力したい



佐々木裕之 議員

フの地元定着や人材の地域医療資
源化の方向性は。

町長

【佐々木】
①医療制度改正で、療養型や一般
病床の今後の見込みや、訪問在宅
診療のあり方は。

②患者数の推移、医療スタッフ数
とチームとして運営の現況は。

③人工透析室の稼働状況、スタッ
フの当初計画現況と計画は。

④所信表明で整形外科医の招へい
を謳っているが、常勤医2名体制
が優先ではないか。2次医療・近
隣との連携や、看護師などスタッ

①29年度末で介護療養病床18床が
廃止され、医療機関併設型小規模
老人保健施設に転換します。26年
度の入院稼働率は93・9%であり
病床は減らせません。在宅訪問診
療は本年4月36件であり、終末期
医療と併せ充実させたいです。
②患者数は26年の入院患者数が22
年より3262人の増、外来は
6024人の減。医師は2名減、
看護師は3名増。看護師不足のた
め契約看護師の募集や派遣専門業
者からの派遣で対応しています。
③透析室は24年10月稼働4ベッド
で週3回月水金に患者は当初2名

から5月現在では外来5名入院2
名。スタッフは臨床工学士2名看
護師1名看護助手1名。8月以降
新患者2名増のため、補正予算で
1ベッド増を提案しています。
④患者のニーズから整形外科医を
優先と考えました。近隣との連携
については自治体病院に係る会議
等で情報交換をしており、スタッ
フの確保については天塩高校のイ
ンターシッピング等の折に修学資金
貸付の周知をするなどしています。

【佐々木】

①恵愛荘の介護ベッド数は現状維
持だが医療型の介護ベッドも増床
できないのか。

②病院ホームページ上の院長の在
宅訪問診療や禁煙外来の取組みに
ついて町民や患者側への周知対応
も必要だ。

③看護師の確保対策で1年間6百
万円以上の契約看護師は募集して
いるが、月収40万円3ヶ月単位の
派遣看護師に頼る公立病院は少な
い。人材として地域に何も残さず、

患者への対応も日替わりのイメー
ジであり、好ましくない。

④人工透析室は月水金が休日でも
稼働しており、スタッフ増や人材
の地元定着をはかるべき。

⑤規則上で病院人事や予算など大
半が院長権限ではなく、開設者の
役場側にある。人事待遇は役場総
務課・繰出金は福祉課が担当だか
ら、運営管理体制に役場は連携と
責任をもつべき。

病院事務長

①18床の増床は非常に厳しいです。

②在宅訪問診療について関係機関と
も協議しています。

③派遣看護師についてはやむを得
ず利用しています。

町長

④人工透析は収支均衡しており、
増床で期待に届いていきたくない。

⑤病院と役場の連携は福祉を中心
に行われています。院長権限の拡
大は法律的に難しい点があります。
院長や看護師長など幹部と私は相

当数協議する機会をもっています。

【佐々木】

①個別に町長が会う機会ではなく、役場と病院の幹部が組織として議論する場がない。病院側は忙しいから、役場側が病院で昼食兼会議なども含めて、町民・患者側の話なども伝えてほしい。

②派遣看護師に頼らない体制を早急につくるべき。人工透析は月水金のほか火木土に増やすことをスタッフの倍増など交代強化を条件に検討すべき。

③他の行政組織では「病院運営支援室」を本庁側に作っているケースもある。院長などの過剰労働を軽減していく検討が必要。

町長

①・③町と病院の体制については、どんな形で協議できるか、応援していただけるか積極的に取り組んでいきたいと思っています。

病院事務長

②透析室の火木土は将来的に相談したいと考えています。

佐々木裕之議員

介護

国の介護制度改正と町の対応は

町長 情報公開を最大限努力します

【佐々木】

①介護制度改正が予定され、町の65歳以上人口は30・4%だが、介護予防・生活支援事業のスケジュールは、
②生活支援体制整備事業はどう進めるか。

町長

要支援認定者に対する介護保険による訪問介護・通所介護が、29年4月には介護予防・生活支援総合事業に移行します。本年度は関係機関と協議し、事業概要を決定します。28年度は条例整備や町民への周知や社会福祉協・町内会・民間と連携し互助のための協議体の設置を行います。

【佐々木】

町長答弁は厚労省ガイドラインのとおりだが、国は自助・共助・公助のうち国の負担を減らす一方で低下するサービスを共助に任せ

ようとしている。恵愛荘には介護度3以上しか入れない中で、具体的な展開はどうするのか。

福祉課長

要支援以下の虚弱高齢者に対しても簡単なチェックリストで新事業に該当できます。対象人員が増える対策は町内会・ボランティア・民間と連携し、デイサービスが足りなくなれば「夕映」も視野にいられています。

【佐々木】

町内会や民間に今、見守りや配食などを行う力はない。協議体の設置や事業の中身を早めに情報公開しアナウンスすべきだ。

町長

生活支援総合事業は拍車をかけて取り組みたい。個人情報以外は情報公開を最大限努力します。

地方創生と総合振興計画は

町長

振興計画を速やかに見直したい



遠藤功 議員

町長を本部長とする組織で具体的な施策や数値目標の設定していくのか。重要な課題へどのような体制で取り組む考えか。

③ 地方創生問題は総合戦略実施計画に集約される内容になり、天塩町総合振興計画にも大きな影響が及ぶこととなるが、どう取り扱うべきと考えているのか。現行の第6期計画は目標期間満了として次期計画の樹立とするのか。

町長

①・② 団体5件、個人17件から合計86件のアイデアが寄せられ、内容は、農業実習生・研修生の宿泊施設確保などでした。アイデアは活用できるよう職員により加除・

修正やアレンジを加えたのちに区分し、町民の参加を得て組織する総合戦略検討委員会（仮称）で協議を進めていく考えです。目標年次は短期を2019年度、長期を2040年として策定を考えています。

③ 現在の計画は2018年度までで、戦略に盛り込めないアイデアは検討を行い、計画終了前でも期間満了とし、速やかに見直しを進めたい考えです。

【遠藤】

① 検討会の立ち上げ時期、人数、男女比は。

② 交付金の配分について対策は。

③ 総合振興計画の重要な項目、計画期間をどう見直すのか。また総合戦略策定と重なるが組織整備は。

企画商工課長

① 9月までに概ねの方向を絞り込むスケジュールで進めなければと

考えています。人数は20人程度でアイデアに見合う人を配置したいと考えています。

町長

② 天塩町が努力している姿が見えなければいけないと思います。

③ 慎重を期しながら、横の連携をとれるような組織づくりをしていきたいと思っています。

【遠藤】

① 総合戦略をもとに交付金が算出される上、総合振興計画の想定以上に人口が減っている状況。総合戦略をいつ、どうまとめるのか。

② 検討会の構成は未定とのことだが、半分は女性とすべきでは。

町長

① スケジュールはこれから整理し、財政計画に影響しないよう最大の努力しなければと思っています。

② 女性の見方を重要視し最大の努力をします。

【遠藤】

市町村には本年度中の人口ビジョンと地方総合戦略計画の策定が課されていることも踏まえ、次の3点を伺う。

① 昨年度実施した全町民からの意見集約の回収率と内容は。また活用方法は。

② 国は総合戦略の内容によって交付金配分額に差をつけることも示唆しているが、総合戦略の策定は、

町政執行の基本姿勢は

町長 年度内の戦略策定に最善を尽くす

【遠藤】

①火葬場整備に取り組み姿勢を町政執行方針に示さなかった理由は。

②かわまちづくり計画を展開する上で河川敷地の活用整備をどう考え、国にどう要望していくのか。

③後期高齢者の運転免許証返納促進と返納者の生活支援に取り組む姿勢はないのか。

④庁内組織の再編と改革を緊急課題とし、上乗せ方式導入となる交付税の見通しを示すことが行財政の充実では。

りました。

②計画が国に登録されたことで、河川敷での施設整備が認められたこととなります。町が行うべき整備について、歩調を合わせて推進していきたい考えです。

③返納促進は警察署と連携し運動を展開しています。生活支援については現行制度を活用しつつ必要があれば内容の充実を図っていきたい考えです。

④庁内に地方創生総合戦略対策本部（仮称）の設置を検討し積極的に業務の執行を図っていきたくと思っています。上乗せ交付金については要件を満たす内容であれば申請していきたく考えです。

【遠藤】

①町長の姿勢は町民の求める安心生活に向いていると自負できるか。

②火葬場について現在進行中でありながら記述しなかったのは町民に見えない町政運営と受け止められるがその理由は。

③返納者への支援について必要があれば充実とのことだが、地域事情からみて緊急の問題。どう対応していくのか。

町長

①町政執行の信念については変わりありません。

②町民にわかりやすく表現できるように最善を尽くしていきたいと思っています。

③検討を進めたいと思います。

【遠藤】

①天塩川は本町にとって貴重な存在。天塩川をどう使って町の再生を図るか、町長の考えは。

町長

②免許証を返す代わりに返納者の足となる対策を示すべきでは。

③地方版総合戦略などもあり、早急に機構改革を検討しなければ年度中の策定に間に合わないのでは。

④総務省の検討では公共施設を集約し規模の適正化に努める団体が重点配分となる。財政健全化計画をどう立てるのか。

①住民の意見などで良い案ができ上がっており、川がいかしきれるような観光を考えていかなければと思います。

②よく分析をしてあるべき姿を求めていきたいと思っています。

③機構改革については煮詰めていき、策定が間に合うように最善を尽くします。

④公共施設のあり方について考えていきたいと思っています。

町長

①町単独か近隣町村と連携かを含め検討中であり、材料を揃えてからの説明を考えていたため、見送

町民保養センターの業務特別 監査について

町長 信頼できる形にしたい

【遠藤】
町民保養センター業務の特別監査結果の報告について、どう捉えているか伺う。

- ① 監査の主眼と方法について結果報告では未記載だが、監査要求した立场上、問題としないのか。監査体制に限界ありと考えるのか。
② 観光協会の一時借入れによる補てんとあるが、誰が事務取扱いを行ったのか。また個人から協会の口座に多額の借入れとあるが、町と担当の関与の実態は。
③ 借入れによる利息は誰が負担したのか。
④ 委任契約している組織の責任範囲取り決めの内容は。
⑤ 公金支出の適正化をチェックす

る側がチェックを受ける側に立つことになったことを、問題として意識しているのか。

町長

- ① 事態を重く受け止め経営改善に取り組みたいと考えています。
② 観光協会の一時借入れの事務取扱いは、企画商工課で行い、個人から観光協会への借入れについては町長、総務課、企画商工課の協議を経て対応しました。
③ 観光協会が負担しました。
④ 町と観光協会の委任契約書で業務の内容、費用負担について定められており、これが責任範囲の取り決め内容と解釈できると考えます。
⑤ 事態の重大さを認識するとともに、問題の検証を行い様々な改善策を検討していきたいと思えます。

に、問題の検証を行い様々な改善策を検討していきたいと思えます。

【遠藤】

① 報告されていない事項について、監査委員に再報告を要求しないのか。

② 個人の借入れについて、補助金交付団体であり委任契約している団体の経営に直接介入したことの行政責任は。

③ 利息は観光協会が支払ったとのことだが、財源は町負担に包括されていないか。

④ 補助金交付団体の事務は職員の手から離すべき。職員が複数の団体の通帳を保有することが誤解を招く最大の原因では。改善策の考えは。

町長

- ① 監査委員と協議したいと思えます。
② 本来ならば議会の議決を得るべき

きでしたが時間が持てず、反省するべきものと思えます。

③ 契約では、不足するものは町から支払う形なのでその中に含まれていると考えます。

④ 事務を観光協会に戻すことは、受ける側の体制の問題もあり、時間をいただきたいと思えます。

【遠藤】

監査委員と協議とのことだが、町長は監査要求した立場。協議ではない。また、契約している観光協会には委任業務をしっかりとさせるべき。見極めた業務の運営を。

町長

適正な形に持っていくための道筋をつくらなければいけないと思えます。信頼できる形に持つていくようにしていきたいと思えます。

臨時会

第2回臨時会

(5月27日開催)

主な議案内容

【専決処分の承認】

町税条例の改正及び一般会計ほか4会計予算の補正に係る専決処分を承認。

※専決処分とは

本来、議会の議決が必要な事案を、例外的に首長の判断で決定すること。至急の決定が必要で、首長が議会を招集する時間的余裕がないと認められるときなどに可能とされている。専決処分後、首長は次の議会で報告し承認を求めなければならない。

【同意】

副町長に長瀬啓嗣氏(前総務課長)を選任することに同意。

主な質疑

【町民保養センター】

町民保養センターLED設置事業と利用者拡大事業の内容は。

【横山】

町民保養センターLED設置事業と利用者拡大事業の内容は。

企画商工課長

3月に夕映の運営費補助に1100万円をあてる補正をしましたが、国の審査が通りませんでした。それが3月議会後であり、LED化とリピーターの拡大を図る事業にあてるため専決したものです。

【遠藤】

3月には運営費補助として議決している。なぜ専決としたのか。臨時会を開くなどすれば良かったのでは。

企画商工課長

臨時議会を開く時間もない状況でした。

【渡辺】

3月の議決案件が我々の知らないところですり替わってしまった。議員への説明なしにこの場に出

てくるのが理解できない。説明を。

町長

説明が不十分でした。今後、このような形にならないようにしていきたいと思います。

議会の動き

5月20日

全員協議会

(農業振興ビジョン外2件)

5月27日

産業厚生常任委員会

(農業振興ビジョン外1件)

6月1日

全員協議会

(天小グラウンド整備外7件)

議会運営委員会

(6月定例会の運営について)

6月5日

全員協議会

(てしお温泉夕映の指定管理)

総務文教常任委員会

(所管事務調査の案件について)

6月26日

全員協議会

(てしお温泉夕映の指定管理外1件)



次の定例会は

9月15～17日の予定です。

(26年度各会計決算審査を行います)

議
会
を
傍
聴
に
み
ま
せ
ん
か!

編集・発行 議会広報特別委員会

◎委員長 後藤 忍 ○副委員長 横山 敦 ☆委員 佐々木裕之 ☆委員 谷村 敏彦